

# 令和元年度 事業報告

## 《 概 要 》

令和元年度の事業計画に基づき、高齢者・障がい者・児童等の福祉推進事業、広報啓発、相談援助等の諸事業を実施し、共同募金・歳末たすけあい募金の配分金や善意銀行等の資源を活用しながら、区民ひとりひとりが住み慣れた地域社会で安心して暮らせるよう様々な福祉活動の推進を図った。ただし、年度末の令和2年2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の一部を縮小または休止した。

高齢者福祉事業では、70歳以上のひとりぐらし及び75歳以上の高齢者世帯を対象にした高齢者見守り調査等を行い、友愛訪問、ふれあい給食をはじめとする高齢者への地域見守り活動の充実と、地域での介護予防・仲間作り活動を支援した。

子育て支援事業では、子育てサークルに講師等を派遣し、児童館や学童保育コーナーにはイベント講師を派遣して、豊かな生活体験の場を提供した。また、児童館を中心とした子育てネットワークづくりを進め、「出前児童館」の実施等、児童館が地域の子育て支援の拠点としての役割を果たすように努めた。また、臨床心理士による「孫育て講座」を開催した。

ボランティアセンターでは、小中学校の特別支援学級で子どものサポートを行う「学校ボランティア養成講座」や「みんなで学ぼう初めての手話講座」、新たに「認知症サポートボランティア講座」を開催し、福祉啓発やボランティア育成に努めた。また、ボランティアと区民が交流する場として「ボランティアまつり」を開催した。さらに、登録ボランティア情報交換会を定期的に開催した。

地域福祉ネットワーク事業では、地域福祉ネットワークを中心に既存の制度やサービスでは対応しにくい課題をかかえる相談者への支援を行った。特にひきこもりの課題について、家族や支援者の交流会を3回実施した。

また、「垂水区社会福祉法人連絡協議会」（ほっとかへんネットたるみ）の事務局を担い、社会福祉法人の地域貢献活動と区民の抱える地域課題をつなぐことにより、地域課題の解決に向けて取り組んだ。元年度は特に、向こう3か年の中期活動計画を策定し、区内5地区に分かれての活動を進めるなどのプランを織り込んだ。

法人運営においては、働き方改革の一環として業務見直しを行うとともに、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等を進めるため、諸規程の整備や体制の強化を図った。児童館の管理運営は、神戸市の公募により4館から3館に減った。

※以下に示す件数等はすべて令和元年度実績です

## 1 理事会・評議員会等の開催

- ① 第1回理事会（令和元年6月11日（火）開催）  
（議事）平成30年度決算報告・平成30年度事業報告、  
顧問の委嘱、次期役員（理事及び監事）候補者の提出議案、  
評議員候補者の選任及び評議員選任・解任委員会の招集、  
定時評議員会の招集・提出議案
- ② 第1回評議員選任・解任委員会（令和元年6月11日（火）開催）  
（議事）評議員の選任
- ③ 第1回評議員会（令和元年6月28日（金）開催）  
（議事）平成30年度決算報告・平成30年度事業報告、  
次期役員（理事及び監事）の選任
- ④ 第2回理事会令和元年6月28日（金）開催）  
（議事）理事長及び副理事長の選任、顧問の委嘱
- ⑤ 第3回理事会（令和2年3月11日（水）開催中止）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
（予定議事）令和元年度補正予算（案）、  
令和2年度児童館の管理運営に関する業務の受託契約（案）、

令和2年度事業計画(案)・令和2年度予算(案)、  
評議員会の招集・提出議案(案)、事務局規程の一部改正(案)

- ⑥ 第2回評議員会(令和2年3月24日(火)開催中止) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
(予定議事) 令和元年度補正予算(案)、令和2年度事業計画(案)、  
令和2年度予算(案)

## 2 広報・福祉啓発活動の実施

### 1) 広報紙「区社協だより たるみ」の発行(年1回/111,000部)

【決算額: 1,202千円 財源: 地域福祉推進基金 350千円 市社協補助金等】  
本会の活動を紹介し、福祉活動への参加を促進するため、広報紙を発行し、区内全世帯に配付した。

第45号(令和元年10月1日発行)

(内容) 平成30年度共同募金報告、善意銀行事業案内、各相談事業・貸出事業等  
拠点児童館講座・事業案内、孫育て講座案内、チャリティーコンサート案内  
特集①「認知症」の人にやさしいまちづくり  
②「ひきこもり」状態の人への支援を考える  
たるたるハート(ボランティアセンターだより)

### 2) ホームページの運営 (<http://www.tarumi-csw.or.jp>)

【決算額: 105千円 財源: 市社協補助金等】

ホームページで本会の事業紹介、講座・イベント・ボランティア募集等の情報提供や公式ツイッター、職員ブログ「かんらかんら」の運営を行った。

#### ①ホームページ情報発信および閲覧状況

本会情報発信回数: 101回

ホームページ閲覧者数: 延べ14,951件(平成30年度9,409件/前年度比159%)

1ヶ月平均の閲覧: 1,246件(アクセス端末: パソコン49.2%・モバイル44.4%・タブレット6.4%)

②ツイッター発信回数 120回

③ブログ発信回数 27回

### 3) 第24回たるみ生き生き保健福祉フェア

【決算額: 21千円 財源: 共募】

高齢者・障害者・児童等の保健・福祉の現状を紹介するとともに、地域でお互いに助け合う、保健・福祉活動への参加のきっかけとしてフェアを開催した。

(日 時) 令和元年10月9日(水)~11日(金)、13日(日)

(場 所) 垂水区役所1階・2階

(共 催) 垂水区役所健康福祉課

区 分	内 容
特別イベント	たるみいい歯まつり(オーラルフレールチェック・口腔ケアクイズ)
展示・活動紹介コーナー	赤い羽根共同募金ポスター展、区内の児童館・福祉施設・団体などの活動紹介と作品・製品の展示、親子ふれあいランド
体験コーナー	はり・マッサージ施術体験、AEDの紹介と実演、医療機器体験、子ども体験コーナー、非常食の調理実演
ふれあいコーナー	高齢者・障がい者・児童等によるふれあいミニコンサート、ふれあい喫茶・バザーの実施(障がい福祉サービス事業所出店)
相談コーナー	お薬と健康相談、健康よろず相談

- 4) たるみっこまつり 【決算額：689 千円 財源：善銀 509 千円、市受託金 180 千円】  
 垂水区役所と協力し、まつりの運営に参加するとともに、模擬店やバザーを出店する区内の福祉関係団体や障害福祉サービス事業所等の参加を支援した。  
 (日 時) 令和元年 5 月 18 日(土) 午前 10 時～午後 6 時  
 (場 所) マリンピア神戸  
 (内 容) ボランティアセンター：福祉体験コーナー（ロービジョン、点字）、  
 ごしきまる記念撮影コーナー  
 児童館：キャップ落としゲーム  
 (参加者) ボランティア 12 名

- 5) ポスタープリンターの利用貸出  
 【決算額：185 千円 財源：善銀 108 千円、市社協補助金 77 千円（売上額：36 千円）】  
 地域で各種事業・行事の横断幕やポスターなどを、イメージどおりに手軽にかつ安価に作成し、地域福祉活動推進の一助とすることを目的としてポスタープリンターを設置し利用貸出を行った。(利用貸出数) 10 回

- 6) 福祉教育の推進 【決算額：12 千円 財源：共募】  
 高齢者擬似体験用具・アイマスク・車いすなどを学校等に貸し出し、福祉教育の推進を図った。

	高齢者擬似 体験用具	車いす	アイマスク	白杖	点字板
保管数	8	7	50	10	40

(貸出実績) 小学校 15 件、中学校 3 件、施設他 11 件 合計：29 件

### 3 高齢者福祉の推進

- 1) 地域支え合い活動の推進 【決算額：230 千円 財源：市受託金】  
 民生委員児童委員や友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員等と連携・協働しながら、地域住民による見守りや支え合い活動を進めるためのコミュニティづくりやネットワークづくりを支援した。  
 (小地域支え合い連絡会への出席) 延べ 46 回

- 2) 生活支援体制整備事業（協議体の運営） 【決算額：190 千円 財源：市受託金】  
 本会生活支援コーディネーターを中心に、高齢者の仲間づくりや健康づくり、社会参加の機会の拡大、生活支援の取り組みを進めた。

① 多聞東地域ボランティア講座の開催

多聞東地区で、つどいの場を立ち上げるためのボランティアを発掘するために開催。

(日 時) 令和元年 8 月 25 日(日) 午後 1 時～4 時

(場 所) 多聞東地域福祉センター

(内 容) おいしい紅茶の入れ方レッスン、ふれあい喫茶立ち上げについて懇談

(参加者) 8 名

② 認知症サポートボランティア講座の開催

認知症の当事者や家族をサポートできるボランティアを育成するために開催。

(日 時) 令和元年 10 月 22 日(火) 午後 1 時 30 分～4 時

(場 所) 垂水区役所 大会議室

(内 容) 認知症サポーター養成講座、当事者家族の講話、ボランティア活動の説明

(参加者) 25 名

③ ボランティアミーティングの開催

認知症サポートボランティア講座の受講者等のうち、ボランティア活動を希望する方々と実際のニーズをもとに話し合い、活動につなげるためのミーティングを開催。

3回開催 延べ11名参加

3) 見守り推進員（高齢世帯生活援助員）派遣事業にかかる統括業務

【決算額：660千円 財源：市受託金】

ひとりぐらし高齢者が多い災害復興公営住宅等に設置したあんしんすこやかルームに配置された見守り推進員（高齢世帯生活援助員）を統括し、高齢者の身近な見守り拠点としての活動を支援した。

【区内あんしんすこやかルーム／5か所】

「あんしんすこやかルーム あじさい」（市営東多間台住宅）

「あんしんすこやかルーム きたまいこ」（市営北舞子第四住宅）

「あんしんすこやかルーム 高丸」（県営高丸住宅）

「あんしんすこやかルーム にこにこ」（市営旭が丘第二住宅）

「あんしんすこやかルーム あすなろ」（県営東垂水住宅）

4) コミュニティサポートグループ育成支援事業

【決算額：654千円 財源：市社協補助金】

見守りや支え合い活動が必要な地域において、住民によるふれあい喫茶や食事会、体操教室などのつどいの場及び助け合い活動の立ち上げのため、あんしんすこやかセンターの協力のもと活動グループに対して活動費の助成を行った。

（助成実績）

地域貢献活動	介護予防促進	コミュニティづくり	合計
1	9	25	35

5) ひとりぐらし高齢者友愛訪問ボランティア活動への支援

【決算額 6,038千円 財源：市補助金4,843千円、善銀1,195千円】

ひとりぐらし高齢者等へ訪問や電話による見守り活動等を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

（活動実績）

グループ数	対象高齢者数	ボランティア数	活動回数 (安否確認)
243	2,824	1,140	291,382

6) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動への支援

【決算額 7,728千円 財源：市補助金6,928千円、共募800千円】

ひとりぐらし高齢者等の閉じこもり防止やふれあい交流を目的に給食会活動を行っているグループに対し、運営費の助成を行った。

（活動実績）

グループ数	延べ参加高齢者数	延べ参加ボランティア数	実施回数
40	13,835	4,036	397

- 7) ふれあい給食活動グループへのバス旅行助成 【決算額 180 千円 財源：善銀】  
 善意銀行助成要綱に基づき、バス旅行を行う給食会活動グループに対し、経費の助成を行った。

(活動実績)

助成金額(円)	助成団体数	計
30,000	2	60,000
60,000	2	120,000

- 8) 高齢者見守り調査の実施 【決算額 2,484 千円 財源：市受託金】

見守りが必要な高齢者の状況を把握するために、新たに70歳以上の単身世帯となった高齢者及び75歳以上の高齢者のみとなった世帯に対し、郵送による事前調査の後、民生委員が訪問して緊急連絡先や生活状況の把握に努めた。

(郵送調査の対象世帯数)

新たに70歳以上の単身となった世帯 1,087 世帯  
 75歳以上の高齢者のみ世帯 793 世帯

- 9) たるみおたよりくらの実施 【決算額：69 千円 財源：共募】

ひとりぐらし高齢者・障がい者等の希望者に対し、ボランティアが絵手紙・切り絵など趣向をこらした手作りのカードを製作し、月1回送付した。

(送付希望者数) 平均 98 名 (活動ボランティア数) 平均 21 名

※3月は中止

- 10) たるみふれあい電話の実施 (テレフォンサポート事業)

【決算額：120 千円 財源：市社協補助金】

ひとりぐらし高齢者・虚弱者等に対して、ボランティアが週1回電話をかけ、安否確認、孤立防止、相談等を行った。

(対象者数) 27 名 (ボランティア数) 9 名

- 11) 歩行杖の交付 【決算額：3,123 千円 財源：善銀】

善意銀行の金銭預託の払出しを受け、満70歳以上の高齢者に歩行杖を交付してきたが、介護保険制度の定着により、杖の販売店舗や取扱業者も増え、より機能的な杖も市販されるようになってきたことを踏まえ、寄付を効果的に活用するため個人への杖の交付を令和元年9月末で終了した。

(9月末までの交付実績) 計 3,524 本

- 12) 車いすの貸出し

地域福祉センター(25ヶ所)及び本会事務局に車いすを配備し、区民に無料で貸出しを行った。

貸出件数(事務局貸出実績 計273件)

貸出期間(当日から最長60日間)

- 13) エンディングノート(垂水版)の配布 【決算額：181 千円 財源：善銀】

「今をよりよく自分らしく生きる」ための情報を提供し、地域で安心して暮らし続けたい区民をサポートすることを目的として、善意銀行の金銭預託の払出しを受け、エンディングノートを配布した。

(交付実績) 計 2,826 冊

## 4 児童福祉の推進

### 1) 児童館の運営

【決算額：76,855千円 財源：市社協受託金他】

児童館3館（愛垂・東垂水・星陵台）及び3カ所の学童保育コーナー、1カ所ののびのびひろばの職員雇用、人事管理、職員配置等を行い、館の運営を行った。

### 2) 区内児童館のネットワークの強化及び活動支援

【決算額：421千円 財源：市社協受託金他】

他団体運営の児童館を含め、区内15児童館のネットワーク強化と活動支援、地域の子育て支援事業の推進に取り組んだ。また、児童館の合同行事を行った。

#### ① 訪問・巡回実績

【決算額：105千円 財源：市社協受託金】

内 容	回 数
放課後児童クラブ・安全管理指導	34
事務巡回	6
その他	34
合計	74

#### ② 指導員研修

【決算額：48千円 財源：市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
5月14日(火)	子どもが楽しく過ごす工夫「あそびを通じて子どもを育てる」	16
10月18日(金)	児童館ガイドライン、児童館論、情報交換	16

#### ③ 放課後児童支援員研修

【決算額：54千円

財源：市社協受託金】

日 程	内 容	参加者数
5月21日(火)	放課後児童クラブのあそびを考える	36
10月25日(金)	ゆったり楽しい、魔法のコミュニケーション術	41

#### ④ 区内児童館合同館長会

日 程	内 容	出席館数
5月22日(水)	令和元年度児童館事業について・情報交換	14
2月27日(木)	令和2年度合同行事について・情報交換	14

#### ⑤ 子ども・子育てサポート事業の実施

【決算額：100千円

財源：市社協受託金】

##### (1) 名谷子育てサロン

親子遊びを中心に、あそび・交流を通して子どもと子育て家庭への支援のため、児童館の設置がない地域で「出前児童館」を実施した。

(実施期間・回数) 令和元年5月20日(月)～令和2年2月10日(月)(計9回)

(場 所) 名谷学童保育コーナー

(対 象) 就学前の乳幼児

(参加者) 138名

(2) 舞多間子育てひろば立ち上げ支援

垂水区北西部に広がる住宅地内には児童館が設置されていないが、幼児の数は多く、転居してきたばかりで友だちがいないという親子も多数いる。そのような就園前の親子を対象に子育てひろばを実施する団体の後方支援として講師を派遣し、プログラム（1回）を実施した。

（実施日） 令和元年7月4日（木）  
（場 所） 舞多間学童保育第2コーナー  
（対 象） 0歳児  
（参加者） 36名

⑥ 垂水区児童館・学童保育コーナーへのイベント派遣事業

【決算額：136千円 財源：共募】

垂水区ボランティアセンター等に登録している団体を児童館等に講師として派遣し、児童に対しての多彩な活動を支援した。

（派遣実績）

内 容	回数	参加者数
すとりべリーじゃむとあそぼう	4	149
楽しく音楽に合わせて体操しよう	4	170
元気！わくわくキッズヨガ	3	176
紙芝居がやってきた	4	206
アニソンや元気の出る歌を一緒に歌おう！	2	64
昔話を聞きながら笑おう！	4	162
マジックを楽しもう	4	196
演劇の世界をのぞいてみよう！	1	51
合 計	26	1,174

⑦ 垂水区児童館合同行事

【決算額：30千円 財源：市受託金】

区内14児童館が合同で親子を対象にした行事を実施することで、親子交流を図るとともに、社協運営児童館、他団体運営児童館の連携強化に努めた。

（たるみっこまつり）

（日 時） 令和元年5月18日（土）午前10時～午後5時  
（場 所） マリンピア神戸 児童館ブース  
（内 容） キャップ落としゲーム

⑧ 社協運営児童館・コーナー利用者数等 ※「月平均」の数値は小数点以下四捨五入

利用者（すべての利用者）数

	月平均	年度合計
愛垂児童館	1,767	21,208
高丸コーナー	1,249	14,995
高丸のびのびひろば	325	3,908
東垂水児童館	1,372	16,464
福田コーナー	1,476	17,712
星陵台児童館	1,520	18,248
東舞子コーナー	1,250	15,006
合計	8,959	107,541
合計（児童館）	4,659	55,920
合計（コーナー）	3,975	47,713
合計（のびのびひろば）	325	3,908

学童保育登録者数

	月平均
愛垂児童館	70
高丸コーナー	79
東垂水児童館	49
福田コーナー	89
星陵台児童館	61
東舞子コーナー	100
合計	448

学童保育延長登録者数

	月平均
愛垂児童館	15
高丸コーナー	20
東垂水児童館	11
福田コーナー	11
星陵台児童館	13
東舞子コーナー	14
合計	84

学童保育高学年登録者数

	月平均
4年生	50
5年生	19
6年生	3
合計	72

3) 子育て支援事業の実施

① 子育てコミュニティ育成事業の推進 【決算額：194千円 財源：市社協補助金】

地域の子育てコミュニティ形成を目的に、日曜・祝日に児童館を開放するなどして、様々なイベントや事業を実施していただいた。

（令和元年度実施回数）延べ34回（3館の合計）

（内 容）親子体操・工作・クッキング・鑑賞会等

② 地域の子育てサークルへの講師派遣事業の実施

【決算額：150千円 財源：市社協地域福祉推進基金】

区内の子育てサークルの活動を支援するために専門講師等を23サークルに派遣した。

（派遣実績）

内 容	回	参加数
楽しくクッキング 手軽にバランスよく	2	70
親子でハッピータイム	6	115
すとりベリーじゃむと遊ぼう！	2	40
わらべうたと手作りおもちゃであそぼう	4	114
身体を使ってコミュニケーション&リラックス	6	165
音楽とあそび！Let's Play	3	68
合 計	23	572



- ③ 孫育て講座 【決算額：39千円 財源：市社協地域福祉推進基金】  
核家族化の進行等の社会的背景を踏まえ、近い将来孫をもつ予定の方や既に孫を育てておられる方を中心に専門家による講座を開催し、最近の育児情報を提供した。講師は、「孫育ての教科書」の著書である臨床心理士の井上淳子氏。  
(日時) 令和元年11月18日(月)13:30~15:30  
(場所) 垂水区役所3階  
(参加者) 祖母 10名 祖母予定者 3名 合計 13名

## 5 障がい者福祉の推進

### 1) 垂水区地域自立支援協議会の運営参加

障がい者の自立と社会参加の促進を目的に、区内の障がい者福祉施設、教育・行政機関等とともに垂水区地域自立支援協議会の運営に参加した。(運営委員会、就労支援部会及び防災部会等)協議会の活動を通じて、情報発信や各種課題の検討を行った。

### 2) 障がい者福祉団体・自助団体への助成 【決算額：240千円 財源：善銀】

障がい者福祉団体・自助団体の活動を支援するため、6団体に対し、善意銀行の助成を行った。

### 3) 障がい者福祉サービス事業所等への支援 【決算額：400千円 財源：善銀】

区内の障がい福祉サービス事業所等に対し善意銀行から助成を行った。

また、障がい福祉サービス事業所が自主製品を販売し、働く仲間たちの工費アップを図ることを目的に、毎月1回、区役所1階ロビーにおいて「たるみアンテナショップ」を開催した。(共催：垂水区地域自立支援協議会)

(助成事業所数) 20ヶ所

(助成金額) 20,000円(1事業所あたり)

### 4) みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 【決算額：522千円 財源：市社協補助金】

手話通訳ボランティア育成の一環として、垂水区聴力言語障害者福祉協会及び手話サークルたるみの協力を得て、初心者向けの手話技術講習及び聴覚障がい者との交流会を開催した。

<昼の部> 令和元年5月9日(木)~9月26日(木)(20回)午前10時~午後12時  
受講者14名 修了者12名

<夜の部> 令和元年5月9日(木)~9月26日(木)(20回)午後6時45分~8時45分  
受講者20名 修了者17名

## 6 ボランティア活動の推進

### 1) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方(団体・個人)とボランティア活動に来てほしい方(団体・個人)を結びつけるためのコーディネート(連絡調整)、ボランティア同士の交流や情報交換、ボランティア講座の開催などボランティアの育成支援、啓発、相談等を行った。

また、垂水年金会館内に設置するボランティアルームの貸出しにより、ボランティアの会議、打合せ等の活動を支援した。

(運営実績)

ボランティア登録数 (令和2年3月末)		ニード申込件数		マッチング件数		ボランティア ルーム利用件数
団体	個人	団体	個人	団体	個人	
213	229	183	42	241	42	550

マッチングの内 容(内訳)	出演 レクリエーション	外出 支援	作業 補助	生活 支援	技能 活用	指導	地域 交流
件数	176	48	23	23	2	4	7

2) ボランティアセンターだより「たるたるハート」の発行

【決算額：473千円 財源：市社協助成金】

ボランティア活動への理解を深め、活動への参加を促進するため、広報紙を年4回発行し、ボランティア(団体・個人)や区民、社会福祉施設等に配布した。

(内容) ボランティアの活動紹介、募集、各種講座案内、各種助成金案内等

- ① 第134号(令和元年7月1日発行)  
第135号(令和元年10月1日発行) ※広報紙「区社協だより」合併号/全世帯配付
- ② 第136号(令和元年12月1日発行)
- ③ 第137号(令和2年3月1日発行)

3) ボランティアセンター居場所事業

ボランティア登録者で、活動につながっていない方を中心に、ボランティアセンター発行物の封入作業等を行っていただいた。

(開催数) 2回(6・11月)

(のべ参加者数) 10名

4) 講座・交流会等の開催

- ① みんなで学ぼう初めての手話講座の開催 5-4) 再掲

- ② 学校ボランティア養成講座 【決算額：309千円 財源：市社協補助金】

小中学校で支援を必要としている子どもたちの障がいについて学び、特別支援学級等で学習の見守りや付き添いをサポートするための知識・理解を深めるために開催。

(日 時) 令和元年11月7日(木) 午後1時半～4時

「学校でのボランティアについて ～困っている子どもを笑顔に～」

令和元年11月11日(月)～22日(金)のうち1日

見学・実習(小学校特別支援学級)

令和元年11月28日(木) 午後1時半～4時

「障がいをもつ子どもたちへのサポートについて・実習の振り返り  
～障がいの特性・関わり方について学ぶ～」

(延べ参加者) 48名

- ③ 学校ボランティア ミーティング 【決算額：107千円 財源：市社協補助金】

「学校ボランティア養成講座」受講後、学校でのボランティア活動を始めた方、また、現在活動中のボランティアが集まり、活動上の悩み、工夫等の情報交換を行った。

(日 時) 令和2年2月6日(木) 午後2～4時

(参加者) 7名

- ④ 「ボランティア The 談会」の開催 【決算額：12 千円 財源：市社協補助金】  
 ボランティアセンターに登録する団体・個人等の情報交換のため開催した。主にボランティアセンターが関わる年間行事（たるみっこまつり、垂水区民スポーツの日、ボランティアまつり等）の企画・運営につき討議し、行事に参画した。  
 （開催） 7回（4・5・7・9・11・1・2月 午後1時半～3時）  
 （出席者） 平均8団体・10名
- ⑤ 「ボランティアまつり」～みんなであそぼうたるみフェスタ～ の開催 【決算額：20 千円 財源：共募】  
 ボランティアと区民の交流会として開催。多くの登録ボランティアさんが実施スタッフとして活躍した。  
 （日時） 平成31年4月13日(土) 午前12時～午後4時  
 （場所） 垂水区役所 1階ロビー、大会議室他  
 （内容） ステージイベント・体験コーナー・展示コーナー・シールラリー・フードドライブ等  
 （参加者） ボランティア232名・来場者 約760名
- ⑥ 「たるみっこまつり」への参加 2-4) 参照
- ⑦ 「垂水区民スポーツの日」への参加 【決算額：6 千円 財源：共募】  
 （日時） 令和元年10月19日(土) 午前10時～午後3時  
 （内容） 登録ボランティアによる「障害物競走」運営・チャレンジボール等  
 （参加者） ボランティア 27名

#### 5) ボランティア活動への助成

ボランティア活動を支援するため、ボランティアグループへの運営費助成を行った。また、ひょうごボランティア基金の県民ボランティア活動助成の受付を行った。

【決算額：1,117 千円 財源：共募 996 千円、市社協補助 30 千円、県社協補助金 91 千円】  
 (助成等実績)

	区社協助成	県民ボランティア活動助成	
		エントリー受付	申請受付
助成件数	68 件	98 団体	93 団体
助成金額	996,000 円		(2,325,000 円)

#### 6) 災害ボランティアセンター運営のための啓発活動

【決算額：177 千円 財源：市社協補助金】

県立舞子高校環境防災科3年生を対象に、災害ボランティアセンター運営のための講座を実施した。災害支援の現状や現場でのボランティアの役割について学び、災害ボランティアセンターの運営について学ぶ機会となった。また、『X(クロス)』というカードゲームを使用し、テーマに基づいて、生徒自身で考えてもらう時間を設けた。

(日時) 令和元年12月16日(月) 午前8時55分～11時45分  
 (参加者) 生徒39名

## 7 地域福祉の推進

### 1) 共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の運動に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動等への助成を行った。また、期間拡大運動では、兵庫県立神戸商業高校の生徒に協力のもと、「ごしまろ缶バッジ・マグネット」を使用した募金活動や、募金百貨店プロジェクトに取り組み、募金促進を図った。

#### ① 令和元年度募金実績

- a. 赤い羽根共同募金（10月～3月） 8,169,282円
- b. 歳末たすけあい募金 2,700,000円（aの一部）
- c. 赤い羽根共同募金（1月～3月期間拡大分） 519,901円（aの一部）

#### ② 令和元年度配分実績

- a. 赤い羽根共同募金 計 4,463,170円  
（平成30年度共同募金実績が令和元年度事業費となる）

配分対象活動	対象団体数	配分額(円)	配分先
高齢者福祉活動費	41	833,119	給食会、おたよりくらぶ
障がい者(児)福祉活動費	1	10,000	発達障がい児支援事業
児童・青少年福祉活動費	8	382,949	児童館・コーナーイベント派遣事業、講師費用
ボランティア活動費	68	1,017,357	ボランティアグループ運営費
たるみ応援ハートブリッジ助成(公募助成)ボランティア活動費	8	500,000	舞多間エコ倶楽部、すいせい、ふれあい あいあい、舞子坂ふーみん、こどもコミュニティケア、輝たかまる、垂水区更生保護女性会、名谷ほのぼの会
地域福祉推進活動費	-	1,719,745	区社協だより配布費
合計	126	4,463,170	

- b. 歳末たすけあい募金 計 2,700,000円  
（令和元年度募金が令和元年度事業費となる）

配分対象活動	対象者数	配分額(円)	配分先
ひとりぐらし高齢者地区行事	11,860人	2,700,000	19地区民児協

③明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」の実施

【決算額：1,200千円 財源：共募、善銀】

赤い羽根共同募金と善意銀行を財源に、区内の地域福祉を推進する団体を公募し、助成した。（一般公募助成）

（助成実績）

助成団体・施設	申請額(円)	助成決定額(円)	助成対象事業
一般社団法人 舞多聞エコ倶楽部	300,000	250,000	ロボット教室による交流 ～子供たちの放課後居場所づくり～
社会福祉法人すいせい	213,000	113,000	MAKE RAINBOW (LGBT ダイバーシティ啓発・支援)
舞子坂ふーみん	100,000	87,000	調理場備品の交換(安全対策)
特定非営利活動法人 こどもコミュニティケア	264,000	146,000	医療的ケア児を含む 障害児 通所支援事業小規模保育
特定非営利活動法人 輝たかまる	80,000	67,000	いかなご GO!GO!ダンス
垂水区更生保護女性会	100,000	87,000	ふるさと創生ほたるの里づくり
名谷ほのぼの会	300,000	250,000	名谷あじさい公園 植栽
ふれあい あいあい	300,000	200,000	高齢者(65歳以上)の生活支援
8団体・施設	1,657,000	1,200,000	

④ 啓発ポスター展

共同募金への理解を深めてもらうため、垂水区内の小学生・中学生を対象にポスターを募集し、展示した。

（期 間）令和元年10月9日（水）～11日（金）

（場 所）垂水区役所1階ロビー

（応募総数）小学生の部 19点 / 中学生の部 4点

2) 地域福祉ネットワーク事業

【決算額：1,200千円 財源：市社協補助金】

地域福祉ネットワークを中心に生活困窮者や制度の狭間など既存のサービスでは解決できない課題の解決に向けて、専門機関と連携して取り組んだ。また、地域に共通する課題については、解決に向けた仕組みづくりにも取り組んだ。

（個別支援の実績）

・くらし支援窓口などと連携し、生活困窮や社会的孤立などの課題を抱えた方々への個別支援を行った。

新規相談 55 件 課題への支援 延べ 350 回

・生活困窮世帯に対し食糧を提供した  
支援先 16世帯

（個別支援の代表的な事例）

・ ゴミ屋敷状態で生活する40代母親と小学生二人の母子世帯

子ども家庭支援課・生活支援課と協力してゴミの片づけを実施。その後、地域の主任児童委員を紹介し、地域での見守りにつないだ。

・ リウマチと呼吸器疾患がある60代母親とひきこもりの30代息子

母親が自分にもしものことがあった時の息子のことを心配している、とあんしんすこやかセンターから相談。何か変化があった時には迅速に対応できるよう母親と関係機関に呼びかけ世帯支援会議を行った。

- ・年金はあるが夫が入院した寂しさから買い物をしてしまい、医療費や電話代が支えなくなった 60 代女性  
 ぐらし支援窓口の家計相談を受けるとともに緊急小口資金を貸し付けた。また、ケアマネジャーとも連携し見守りを続けている。

- ・息子が買ってくる本やマンガが増えすぎて生活に支障をきたしている 70 代母親と 40 代息子の母子世帯  
 民生委員を通じて相談があり、孤立している母親が介護サービスを利用することになった。本の片づけをするよう、息子へのアプローチも続けている。

(地域課題支援の実績)

- ・ベルデ名谷課題解決プロジェクトとして、住宅内の拠点で夏休み子どもの居場所事業を実施した。神戸商業高校の生徒も参加しカレー作りや科学実験などを行った。

事業名	月日	内容	参加人数
夏休み子どもの居場所	8月6・20日(火)	(火) 宿題支援	延べ 31 名
	8月9・23日(金)	(金) 食事づくり	

- ・「ほっとかへんネットたるみ(垂水区社会福祉法人連絡協議会)」に参画し、ベルデ名谷でのふれあい喫茶や本多聞地区での福祉なんでも相談活動などの地域貢献活動に取り組んだ。

- ・区内のひきこもり支援者の情報交換会及びひきこもり問題を啓発するためのセミナーを開催した。

日時	対象者	内容	参加人数
7月25日(木) 15:30~17:30	支援者	情報交換会	11名
10月10日(木) 10:00~12:00	支援者	情報交換会	10名
11月13日(水) 14:00~15:30	家族・支援者	セミナー「ひきこもり支援を通じた地域づくり」 講師：神戸看護大学 教授 船越明子さん	47名

### 3) 善意銀行の運営

地域社会の福祉を増進し、明るいまちづくりに寄与するため、広く区民から贈られた善意の金品を受け入れ、これを社会福祉団体や施設、地域福祉活動グループ等へ払出を行った。また、篤志者より大口の遺贈寄付があり、新たに基金を創設する。

(預託・払出実績)

	預託		払出	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
金銭	29	27,631,326	321	7,125,836
物品	41	—	28	—

※金銭預託のうち 大口寄付 (30万円以上)

故 山内日佐子 氏 26,799,506円 (一般預託)  
 全国福祉保育労働組合 神戸市社協分会 500,000円 (一部指定)

(払出・助成実績)

①金田基金による助成 5,467,672 円

故金田恵三氏の遺贈により創設された基金を財源に、以下の活動に助成した。

助成対象活動	対象数	助成額(円)	先
高齢者福祉活動	243 団体	1,375,000	友愛訪問ボランティアグループ 地区民生委員児童委員協議会 給食サービスグループ
たるみっこまつり出店助成	3 団体 10 施設	509,000	障がい者団体 障がい福祉サービス事業所
里親支援助成	1 団体	34,200	家庭養護促進協会
視覚障がい者助成	1 団体	30,000	垂水鍼灸マッサージ師会
発達障がい児支援助成	1 団体	50,000	NPO 法人ふぉーらいふ
本会事業に対する払出	-	3,469,472	ポスタープリンター貸出事業 歩行杖交付事業 エンディングノート配布事業

②明日に架ける「たるみ応援ハートブリッジ助成」 4 団体 500,000 円

区内の地域福祉の推進のため、企画提案される事業（活動）に対して助成した。

③土井・上野基金による助成 4 団体 200,000 円

元垂水区連合婦人会会長の土井芳子氏と、元垂水地区青少年育成協議会会長の上野義夫氏から預託を受けた寄付金で創設された基金(以下「土井・上野基金」という。)をもとに、区内の青少年育成のため、本会へ企画提案される事業(活動)に対して助成した。

④単年度実績助成 9 団体・20 施設 670,000 円

区内の自助団体、障害福祉サービス事業所、青少年育成団体に対し、善意銀行への預託実績に基づき、比例按分した額を助成した。

助成対象	対象数	助成額(円)	配分先
障がい者自助団体	6 団体	240,000	友愛訪問ボランティアグループ 地区民生委員児童委員協議会 給食サービスグループ
障がい者福祉サービス事業所	20 施設	400,000	障がい者団体 障がい福祉サービス事業所
青少年団体	3 団体	30,000	垂水区子ども会連合会 垂水地区青少年育成協議会 垂水区体育協会

⑤指定預託の払出 区内児童館・学童保育コーナー17 か所 図書購入費 288,164 円

当年度に預託があった寄付金のうち、匿名の預託者が区内の寄付先を指定したものについては、これを尊重し、寄付先に払出を実施した。

5) 民生委員児童委員協議会活動への支援 【決算額：65 千円 財源：市社協補助金他】  
垂水区民生委員児童委員協議会会長副会長研修に対し助成を行った。

- 6) 日本語教室の運営 【決算額：700千円 財源：市社協補助金他】  
 中国帰国者が多く在住する垂水区神陵台地区の地域福祉振興を図るため、神陵台ふれあいのまちづくり協議会に運営を委託し「日本語教室」を毎週土曜日に開催した。  
 (開催回数) 38回  
 (会場) 神陵台地域福祉センター  
 (参加者) 536名

- 7) 車いすの貸出し 3-13) 再掲

- 8) ポスタープリンターの利用貸出 2-5) 再掲

## 8 相談・援助事業

- 1) 心配ごと相談所の運営 【決算額：80千円 財源：市社協補助金】

昭和45年から区民のよろず相談の窓口として開設している。

令和元年度の開設日数は89日で、運営状況は下記のとおり。相談者は、女性が約7割以上を占める。相談内容は家族、住宅、精神保健、高齢者福祉に関するものが多くみられた。

また、相談内容によっては、当会ネットワークカーへ繋いだり、他機関を紹介するケースなど、解決に向けて助言を行った。

(日時) 毎週火・金曜日、13:00~15:30 (昭和54年7月から週2回開設)

(場所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 民生委員・児童委員、保護司など17名

### ① 相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	6	4	13	5	10	11	8	7	7	3	5	2	81

### ② 相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	5	財産	2
年金	0	事故	1
職業・生業	0	障がい者(児)福祉	2
住宅	16	教育・青少年	0
家族	17	児童福祉・母子保健	0
結婚	1	母子・父子福祉	1
離婚	2	高齢者福祉	6
健康・保健・衛生	7	苦情	6
医療	4	地域福祉権利擁護	1
人権・法律	6	その他	4

### 2) 成年後見制度事前相談室の運営協力

神戸市成年後見支援センターが実施する「成年後見制度事前相談室」の開設、運営に協力した。(平成25年9月開設)

(日時) 第2・4水曜日 13:30~15:30

(場所) 垂水区社会福祉協議会内相談室

(相談員) 市民後見人養成研修を修了した市民後見人候補者



(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
件数	3	2	4	2	4	2	2	1	1	3	0	0	24

### 3) 元気なうちの税務相談～終活・相続・遺贈寄付～

【決算額：132千円 財源：市社協補助金】

エンディングノートや相続、遺贈寄付等に関心が高まっているため、平成29年8月より税理士による終活相談窓口（要予約）を開設した。

（日 時） 原則第3水曜日、午後1時半～3時半（お1人約30分程度 先着4名迄）

（場 所） 垂水区社会福祉協議会相談室、（相談員） 税理士 浜口 祐介氏

(相談件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
予約件数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	46
来所件数	4	4	2	4	4	4	4	2	4	3	4	2	41

### 4) 生活福祉資金貸付

#### ①通常資金

低所得、障がい者世帯等の経済的な自立、在宅福祉の推進、社会参加の促進を図り、地域社会での安定した生活を支援するため、生活福祉資金貸付の相談・受付を行った。

(貸付決定実績)

資金の種類		件数	貸付決定
			金額(円)
福祉資金(福祉費)	一時的に必要な経費	0	0
	エアコン購入費	1	63,000
	転宅費	2	325,000
教育支援資金	教育支援費	20	13,366,800
	就学支度費	29	9,924,000
総合支援資金		0	0
緊急小口資金		4	260,000
合 計		56	23,938,800

#### ②新型コロナウイルス特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に対し、緊急小口資金・総合支援資金(新型コロナウイルス特例貸付)の相談・受付を行った。(令和2年3月25日より受付開始)

(令和2年3月25日～3月31日申請件数)

資金の種類	申請件数	申請金額(円)
緊急小口資金	44	7,500,000
総合支援資金	0	0

### 5) 要保護者緊急援護資金償還

生活保護世帯の窮迫した生活の緊急需要に対応するための緊急援護資金の償還事務を行った。(令和元年度3月末をもって受託終了)

## 事業報告の附属明細書

令和元年度 事業報告は、社会福祉法第 45 条 32 第 1 項に規定する事業報告の附属明細書として記載する事項はありません。